
平成27年度予算第二特別委員会質問要旨

文化観光局 局別審査

平成27年3月6日

質問者（質問順）

- 1 有村俊彦 委員（結ぶ会）
- 2 古谷靖彦 委員（共産党）
- 3 伊波洋之助 委員（自民党）
- 4 藤代哲夫 委員（自民党）
- 5 福島直子 委員（公明党）
- 6 川口珠江 委員（民主党）
- 7 平野和之 委員（みんな）

文化観光局

局 別 審 査

1 有 村 俊 彦 委 員 (結 ぶ 会)

1 事業評価を反映した予算について

- (1) 事業評価をどのように予算編成に反映しているかについて、伺います。
 - (2) スマートイルミネーション横浜の26年度の集客目標と達成状況について、創造都市推進部長に伺います。
 - (3) 26年度の成果について、伺います。
 - (4) 26年度の課題について、伺います。
 - (5) 27年度は、評価と予算規模の整合をどのように取ったのか、伺います。
 - (6) 前回実施の事業評価を踏まえた、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015 の拡充内容について、伺います。
- (要望) 横浜芸術アクション事業は「横浜らしい」すばらしい取組なので市民の皆様にご理解いただける内容と規模で実施して、より多くの市民の皆様が行きたくなるような、魅力的なフェスティバルにしていきたい。

2 観光・MICEの推進について

- (1) 「ホテル稼働率86.5%」について、どのような認識を持っているのか、伺います。
- (2) 外国人観光客の宿泊状況についてどのように把握しているのか、伺います。
- (3) 今後、どのように外国人宿泊者数を増やしていくのか、伺います。
- (4) 誘致が決定した国際会議において、どのように外国人参加者を増やしていくのか、伺います。
- (5) 外国人観光客が宿泊しやすい環境づくりをするために、今後のどのような取組をしていくのか、伺います。

1 局予算の考え方について

- (1) 市全体予算の中で文化観光局予算が低いことについてどのように考えているのか、見解を伺います。
- (2) 中期4か年計画の中で文化芸術都市は成長戦略にも位置づけられているが、実際の予算そのものは抑えられていると思う、副市長の見解を伺います。

2 区民文化センターのさらなる活用について

- (1) 横浜市は何のために区民文化センターを作っているのか、区民文化センターの使命は何か、伺います。
 - (2) 現在、区民文化センターが抱えている課題は何か、伺います。
 - (3) 土日・平日の稼働率の実態を把握して対策を打つべきと思うがどうか、伺います。
 - (4) 文化観光局が主導してオフィシャルな交流の場を設け、クレーム対応、予約システムの対応、営業努力などの共有をし、区民文化センター全体として底上げを図っていくべきだと思うがどうか、伺います。
 - (5) 予約システムを使える方使えない方その公平性を担保する必要があると思うが、考え方を伺います。
 - (6) 老朽化が進んでいる施設の修繕の考え方についてぜひ優先的に修繕をしていただきと思うが、見解を伺います。
 - (7) 区民文化センターを早期に全区展開すべきと思うが、見解を伺います。
- (要望) 旭区民文化センターの周年行事を局として支援していただきたい。

3 伊波洋之助 委員（自民党）

1 予算編成にあたっての考え方について

- (1) 文化観光局の発足からこれまでの賑わいの創出に向けた取組の評価について、伺います。
- (2) 予算編成の基本的な考え方について、伺います。

2 観光等の推進について

- (1) 文化観光局としての観光事業推進の決意を伺います。
- (2) 観光客を増やすための取組について、伺います。
- (3) 大規模な全国大会などを開催する主催者のカルテが、有効に活用されているのか、伺います。
- (4) 大型観光バスの乗降場所に対する認識について、副市長に伺います。

3 文化芸術による経済振興について

- (1) 文化事業の実施にあたっては、経済活性化の視点も重要であると考えますが、見解を伺います。
- (2) 創造的産業の振興に向けた今後の展開について、副市長に伺います。

4 横浜の持続的な賑わいづくりに向けた取組について

- (1) 今後も横浜が持続的に賑わっていくためにどのように取り組んでいくのか、副市長に伺います。

4 藤代哲夫委員（自民党）

1 見本市の誘致について

- (1) 見本市の開催実績を、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (2) 本市の見本市誘致における課題を、伺います。
- (3) 本市誘致の課題に対する今後の対応を、伺います。
- (4) 新たなMICE施設整備を踏まえ、これまで誘致ができなかったものも含め、横浜の強みを生かした見本市の誘致をすべきと考えますが、見解を伺います。

2 オリンピック文化プログラムと横浜芸術アクション事業について。

- (1) オリンピック・パラリンピック文化プログラムに向けて、国や東京都、組織委員会とどのように連携しているのか、伺います。
 - (2) 文化プログラムを見据え、Dance Dance Dance @ YOKOHAMA 2015 をどのように展開していくのか、伺います。
 - (3) これまで培った本市の文化芸術創造都市の強みをいかし、世界に向けた発信力を強化できるような取組を全市的に国に提案していくべきだと思いますが、副市長に伺います。
- (要望) 積極的な提案による都市のプレゼンス向上に、市一丸となって積極的に取り組んでいただきたい。

3 シティプロモーションについて

- (1) 現在、どのような場所を情報発信拠点としているのかについて、横浜魅力づくり室長に伺います。
- (2) 今後、情報発信拠点を確保していく上での考え方を、伺います。
- (3) 市から施設側に戦略的に活用を提案していくなど、柔軟な発想と手法で情報発信拠点を確保していくべきと考えますが、見解を伺います。

4 横濱ウェディングについて

- (1) 横濱ウェディングの概要を、伺います。

- (2) 横濱ウェディングのこれまでの実績を、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (3) 「ゼクシィ」と連携をしたことでの効果を、伺います。
- (4) 横濱ウェディングの今後の取組を、伺います。
- (要望) 横浜を思い出の場所、特別な場所として、横浜に繰り返し訪れたいと思う人がますます増えるよう、今後も積極的に展開していただきたい。

5 市民ギャラリーについて

- (1) 開館後の、市民ギャラリーの利用状況を、文化振興部長に伺います。
- (2) 桜木町駅から市民ギャラリー間の送迎車両の利用状況を、文化振興部長に伺います。
- (3) 誘導案内板の今後の設置について、伺います。

5 福島直子委員（公明党）

1 三溪園について

- (1) 最近の入園者数や活用状況について、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (2) 三溪園への交通アクセスの分かりやすい情報発信について、伺います。
- (3) 三溪園の今後の展開について、副市長に伺います。
- (4) 三溪園方面に新交通の延伸を検討すべき、三溪園まで含めて都心臨海部とすべきと考えますがこの二点について、副市長の考えを伺います。
- (要望) 多くの方を三溪園に誘導するように案内板やサインなど三溪園へのご案内を強化していただきたい。
- (要望) 都心臨海部再生プランの中で三溪園へのアクセスも含めた関内・関外地区からのアクセスを前向きに検討していただきたい。

2 フォト・ヨコハマについて

- (1) フォト・ヨコハマ開催の意義と集客効果について、伺います。
- (2) フォト・ヨコハマでの市民の創作活動の支援について、伺います。
- (3) 市民に対するアナログ写真創作活動への支援について、伺います。

3 フィルムコミッション事業について

- (1) 26年度の撮影支援件数と横浜が舞台の主な作品について、横浜魅力づくり室長に伺います。
- (2) 他都市の主なフィルムコミッションと比較して、横浜の特徴は何か、伺います。
- (3) 今後フィルムコミッション事業をどのように展開していくのか、伺います
- (要望) 映像文化都市の取組を更に前に進めるために、都心部の遊休地などを屋外撮影用地として提供することも検討していただきたい。

4 映像文化都市づくり推進事業について

- (1) 東京藝術大学大学院映像研究科の活動について、どのように評価しているのか、伺います。
- (2) 映像研究科が本市と連携して行った国際交流の取組実績について、創造都市推進部長に伺います。
- (3) 国際的な文化交流において東京藝術大学に期待する役割は何か、伺います。

5 旧関東財務局保全・耐震対策事業について

- (1) 事業者の選考において、「15年間の継続性」は、どのように評価されるのか、伺います。
- (2) 民間事業者による運営を、どのように継続して確認していくのか、伺います
- (3) 旧関東財務局に対する期待を、伺います。

6 MICE誘致と横浜観光コンベンション・ビューローの役割について

- (1) 国際会議の開催状況と来年度の開催予定について、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (2) 本市が国際会議に対して、どのような開催支援を行っているのか、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (3) MICE誘致における横浜観光コンベンション・ビューローの役割と、機能強化について、伺います。

7 クルーズ乗船客観光促進事業について

- (1) 事業に取り組む意義について、伺います。
- (2) 横浜に寄港するクルーズ乗船客はどの程度横浜を観光しているのか、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (3) 27年度の具体的な取組について、伺います。

1 海外から見た横浜の実態把握について

- (1) 23年度以降行っている調査分析の結果、何が明確になったのか、そして取り組んだ内容にはどのようなものがあるのか、横浜魅力づくり室長に伺います。
- (2) 海外調査の対象と方法について、横浜魅力づくり室長に伺います。
- (3) 海外調査の結果を本市として取り入れて生かしていく内容にはどのようなものがあるのか、伺います。
- (4) 27年度の海外調査の内容について、伺います。
- (5) この海外調査を、2020年までの観光行政にどのように生かし推進していくのか、副市長に伺います。

2 20街区MICE施設整備事業について

- (1) 現在MICE施設整備を進めている「20街区MICE施設整備事業」の進捗状況について、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (2) 工事費が上昇している中で、着実に工事を進めるための対応策について、伺います。
- (3) 単年度あたりの本市の負担額はどのくらいになるのか、観光コンベンション振興部長に伺います。
- (4) 新施設の整備により、新たにどのようなMICEが開催できるのか、伺います。

3 横浜芸術アクション事業について

- (1) 前回の参加者とどのように意見交換しているのか、伺います。
- (2) このダンスフェスティバルの特徴、つまり「横浜らしさ」をどう打ち出していくのか、伺います。
- (3) フェスティバルの質を確保するためには、どのような専門人材が必要で、専門性の継承のためには何が必要か、伺います。

4 クラシック・ヨコハマ推進事業について

- (1) クラシック・ヨコハマ推進事業のねらいと、これまでの主な事業内容について、伺います。
- (2) クラシック・ヨコハマ推進事業が横浜に定着した経緯について、文化振興部長に伺います。
- (3) クラシック・ヨコハマ推進事業から育った演奏家にはどのような方がいらっしゃるのか、文化振興部長に伺います。
- (4) 若手演奏家への支援として、現在どのような取り組みを行っているのか、文化振興部長に伺います。
- (5) クラシック・ヨコハマ推進事業について、今後どのように取り組んでいくのか、伺います。

5 旧関東財務局保全・耐震対策事業について

- (1) 旧関東財務局の建物についての、文化財的な評価と、保全・耐震対策にあたって配慮したことについて、伺います。
- (2) 今回は何が評価され、9者という応募数に結び付いたのか、見解を伺います。
- (3) 本市が今後同様な歴史的建築物の維持・保全に取り組む際の、文化観光局の方針と役割について、伺います。

6 映像文化都市づくり推進事業について

- (1) 26年度に東京藝大が行った次世代育成事業の内容とその取組実績について、創造都市推進部長に伺います。
- (2) 26年度の東京藝大による次世代育成の効果検証については、どのような形で取り組むのか、伺います。
- (3) 27年度はどのような次世代育成の取組を行っていくのか、伺います
- (4) 新港校舎の移転までのスケジュールはどうなっているのか、創造都市推進部長に伺います。
- (5) 映像研究科の3校舎を統合した、本格的施設の設置に向けた今後の展望について、副市長に伺います。

7 平野和之委員（みんな）

1 MICE施設整備事業について

- (1) シンガポール出張の所感について、伺います。
- (2) カジノ施設の視察は行ったのか、伺います。
- (3) カジノ施設の視察の所感について、伺います。
- (4) カジノのあり方、MICEのあり方について参考にするべきものはあるか、所感を伺います。
- (5) 政策局との情報共有について、伺います。
- (6) 外国人観光客誘致の課題について、伺います。
- (7) バックパッカー等の対応について充実していくべき課題と考えるが、見解を伺います。
- (8) 観光行政における民間データの活用をすべきと思うが、見解を伺います。